

第90回 港地域メーデー 団結破壊・ 関西生コン弾圧許すな！



全国金属機械労働組合 港合同
大阪市港区南市岡3・6・26
TEL 06・6583・4858
FAX 06・6583・4600

3・27メーデー実行委員会での中村委員長「基調提起」

一九春闘は二月二十二日、一九春闘趣旨説明のブロック会議を開催し、三月六日統一要求として二万円を要求しました。十二日にオルグ団を編成して各企業への回答促進行動が行われ、十四日の第一回目の回答日では、昌一金属支部が千円の回答を引き出しました。

十五日夜は、春闘恒例の港地区平和人権連帯会議の官民連帯集会が行われ、約一〇〇人の参加で

みなと通のデモを貫徹しました。

二度目の回答日十八日は、昌一金属支部で五〇〇円の上積み。かねてから要求をしていた「人員補充」については、二月と三月で六名が入社し、大きな前進がありました。支部の粘り強い闘いの成果です。続く三回目となる二〇日の交渉では一〇〇〇円の上積みがあり計二五〇〇円になっていきます(二七日、四度の交渉

で三〇〇〇回答・妥結)。

港合同は支部・分会という形態で要求を行っています。分会がこぞって要求を行っており、これから先の団体交渉の推移を見つめたいと思います。

この間結成された分会では、オルグによる誠心誠意の交渉によって、いずれの会社も要求、交渉という当たり前の事ですが行われています。

勿論、要求にこたえていない会社もありますが、大事なことは、誠心誠意の交渉が行われているのか、という事になります。例えば少数でも職場に労働組合が存在するという事実は会社も否定は出来ず、

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

個々の働きかけ方次第で今後複数組合員の確保にもつながります。引き続き頑張って行きましょう。

さて今年の第九〇回港地域メーデーは水曜日となります。前日には天皇の退位があり、当日は天皇即位の関係で祝日となります。大阪では、全労協系は中ノ島で従来のメーデーが行なわれますが、連合大阪は、今年に限り、四月二七日に実施をするようです。

安倍政権の国会での対応は相変わらず横着で無礼極まりない。国会開会後から始まった厚生労働省による「日勤統計」の

でたらめさは、この間、問題となって来た、森友学園問題や、加計学園問題への答弁と同じです。

国民を馬鹿にしているのです。来る七月の参議院選挙で、安倍を退陣に追い込むことが、私たちの課題です。とりわけ沖縄の辺野古基地建設をめぐっては、過日の県民投票で基地建設反対の民意が示されたにも関わらず土砂投入を強行し続けているなど、むしろくちな対応です。

二言目には「沖縄に寄り添う」と言いながら、外務大臣、防衛大臣、首相と主要な閣僚は一度も、辺野古基地建設現場を訪

れていない事が明らかになりました（二五日国会答弁）。

三月二十一日、二四日から、大阪府知事選挙、大阪市長選挙が始まりました。二十九日からは府議員、市会議員の選挙も始まり、七日投票日まで熱い闘いが繰り広げられます。

都構想設置に向けた「法定協議会」での対立により、市長が知事に、知事が市長にという、大阪府民を馬鹿にした大阪維新の行動は断固として批判すると共に、彼らが言う「大阪都構想」問題に決着を付けなければな

りません。

万博誘致に勢いをつけ、統一地方選挙で維新議員の増員を狙った奇策ですが、これ以上、維新の何が何でも「都構想」という政治には、終止符を打たなければなりません。

メーデーの時には、すでに結果がでています。橋下市長によって破壊された労働者、労働組合の最低限の権利を闘い取るために、奮闘しなければなりません。

立憲民主党は各区で立候補しており、維新、自民、公明、共産党の枠組みの中に、何とか食い込んでもらいたいものです。各支部分会は、投票へ

の参加を促し、維新勢力の後退に向けて行動してほしいと思います。

最後に、メーデーは一八八六年五月一日に、合衆国力ナダ職能労働組合連盟がシカゴを中心に八時間労働制要求の統一ストライキを行ったのが起源です。日本では遅れること一九二〇年、八時間労働制の制定化、失業の防止、最低賃金法の制定を要求して闘われました。過程では「血のメーデー」と言われるように、先人が命がけで闘ってきた歴史があります。

安倍政権は、国際的な労働者の闘いの日である

メーデーを、意識的に天皇代替わり儀式で蹂躪し解体しようとしています。

労働者が団結して勝ち取ってきた生存権・団結権を奪おうとするものであり、安倍首相が執念を燃やす憲法改悪の攻撃そのものです。

昨年から続く連帯ユニオン関西生コン支部への大弾圧は「ストライキを威力業務妨害・強要」「交渉や要請行動を恐喝」とするなど、正当な労働組合活動を犯罪にでっち上げ、組合員を長期に逮捕・拘留するなど、まさに憲法を踏みにじる前代未聞の暴挙です。これはすべての労働組合に向け

られた、安倍政権と資本による攻撃です。

関西生コン支部は、この厳しい状況の中で敢然と闘いぬぎ、次々と拘留された仲間の保釈・奪還を勝ちとっています。

裁判闘争も、広域協組の妨害をはねのけて前進しています。何よりも、この弾圧を自らの問題と捉え、多くの労働組合や市民運動が連帯して、共に闘いに立ち上がり、反弾圧の運動が広がっています。

九〇回という節目のメーデーを、

労働組合への弾圧を許さず、団結権確保を明確にして、戦争・改憲に突き進む安倍政権打倒に向けた闘いとして、成功させましょう。

第90回 港地域メーデー要綱

●スローガン

「**団結破壊・関西生コン弾圧許すな!**」

戦争・改憲絶対反対! 安倍を倒そう! 辺野古埋立やめろ!

■日時: 2019年5月1日(水)

■1部 10:00開会~入舟公園(港区八幡屋)
10:45~デモ出発

■2部 デモ終了後、田中機械構内

■交流会 12:00~

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!